

質問・回答書

契約番号	5071000126		
件名	春日居福祉会館大規模改修工事（機械設備）（債務）		
入札日	2月10日	入札公告整理番号	(2 - 2)
質問及び回答			
<p>問1 既存棟の衛生器具設備について、</p> <p>(1) 図面の機器表では9組になっており、内訳では浴場棟で2組、既設棟で2組と表示があり、数が合いません。既存棟は、図面リモodel箇所の7組、数量書の2組どちらが正しいですか。</p> <p>(2) 既存棟内訳にあるカウンター洗面器について、図面に記載がありません。どちらが正しいですか。</p>			
<p>答1 (1) 図面が正です。数量書を差し替えます。</p> <p>(2) 図面が正です。数量書を差し替えます。</p>			
<p>問2 オイルタンクの撤去は、数量だと床版コンクリートが入っていないようですが、床版まで撤去しますか。</p>			
<p>答2 撤去してください。コンクリート解体にて計上しています。</p>			
<p>問3 身障者浴室改修(倉庫への変更)の排水管は、残置にて接続でよいですか。(RM-02)</p>			
<p>答3 良いです。</p>			
<p>問4 撤去工事にアスベストの処分がありませんが、含有物はないと考えてよいですか。また調査費、分析費が計上されていませんが、設計段階で調査済みであれば資料の提示をお願いします。</p>			
<p>答4 建築工事に調査費を計上しています。 既に調査済み箇所の資料については、契約後にお貸しします。</p>			
<p>問5 機械室から新築の浴室棟に行く配管ルート上のスラブ・犬走りコンクリートの撤去・復旧がありません。建築工事に含まれると考えてよろしいですか。</p>			
<p>答5 良いです。</p>			

問 6 機械室から新築の浴室棟に行く配管が 13 本ありますが、スリープを入れることは可能ですか。

答 6 可能ですが、躯体に影響のないよう建築主体と十分にご協議ください。

問 7 浴室のポンプ使用が FC 製になっていますが、泉質の影響はないと考えてよろしいですか。

答 7 メーカー選定機種のため問題はないと考えていますが、現場照査次第にてご協議願います。

問 8 換気扇から全熱交換器に改修する部屋が、設備工事にも建築工事にも天井改修がないようですがどのようにしますか。

答 8 建築工事です。

問 9 屋上防水シート（建築工事）に関して、既存機器の取外し・復旧がありませんが、よろしいですか。

答 9 良いです。建築工事に含まれておりません。

問 10 図面について。

給湯器のガス使用量が、500 号 (790000kcal) LP ガス使用量は 65.8kg/h

300 号 (474000kcal) LP ガス使用量は、39.5kg/h

同時使用の時には、 $65.8+39.5=105.3\text{kg/h}$

バルク貯槽 985kg の発生能力は、バルク発生能力表を参照し、条件の悪い時を参照しますと、外気温 5°C の発生量が同時使用開始時で、105.3kg/h のため、着火不良が考えられます。連続使用時には表を参照し、発生量の不足がさらに考えられます。ガス量も、使用率 1 時間あたり 70% で ($105.3 \times 0.7 = 73.71$) 考えます。1 日 (8h) 使用で、ガス量が無くなる恐れがあります。

バルク貯槽を 2 基にして、ベーパーライザーを組み込むほうが良いのでは。

980kg 縦型バルク 2 基、ベーパーライザー 100kg/h 1 基 50kg/h 1 基で 2 系統の配管が考えられます。

1 系統の場合は、特定供給になり、規定が厳しくなります。

答 10 設計のとおり 980kg バルクで問題ありません。

バルク容量、発生量の計算は、実負荷で計算しています。それは熱源系統(10 台マルチ)の給湯機は負荷ではなく、循環水量で選定しているため燃料消費量が過大になってしまっているからです。また、熱源系統給湯機の選定は昇温時で選定しています。この時、給湯系統の給湯機は可動しません。つまり 2 系統の同時フル運転は無いと考えています。参考資料を提示します。